

[エクスペリメンタル]

# 新しい 建築の みかた

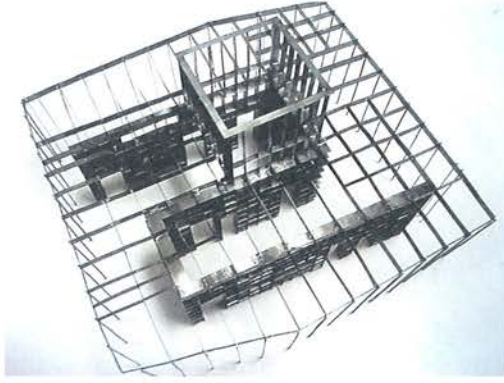
ARCHI-  
NEERING  
DESIGN  
GUIDE  
BOOK

齋藤公男 著

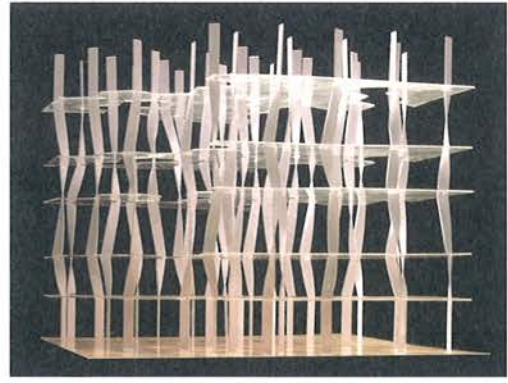
MASAO SAITOH

デザインと  
エンジニアリングが  
融合した  
建築の  
たのしみかた  
つくりかた

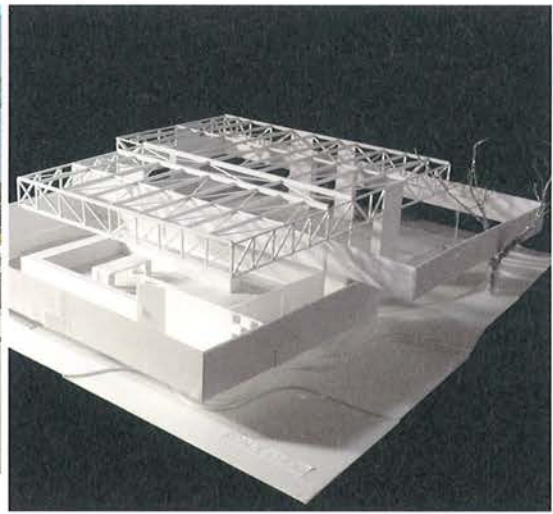
X-Knowledge



「ツダジュウイカ」(2003) 背板のない鉄板格子の壁は、1枚壁ではとてもやわらかで弱い。これを方向をかえて配置すると互いに座屈を止めあうことができ強度を発揮する。構造体となっていない背板や差しつかえのない格子を外すと、歯抜け状態で流動する不思議な空間が生まれる。



「LEICHTRAUM」(2010年ベネチアビエンナーレ建築展出品) スイス国鉄の鉄道用地を高密度に再開発する提案。各階の異なる空間性に対して、アルゴリズムに基づきながらフレキシブルに対応する六角形のモジュール床は、3種類の柱・リボンコラムによって支えられる。



「アトリエ・ビスクロール」(2009) 近隣の緑や全面道路を外部空間とみても、重力から解放された腰壁＝浮遊する帯で敷地全体を取り巻いてみる。互いにバランスしながら二重、三重と積層していく「ハコ」。アトリエと住宅という二つの機能は3重に直交する帯によってワンルームの空間となる。構造要素は3つ。すなわち浮遊する帯(＝サンドイッチ鋼板)、軽量の屋根架構(＝平行弦トラス)、棚を利用した耐力壁(＝鋼板壁)だ。3つの要素は互いに分離しながら全体系へと統合され、建築空間の境界の曖昧さや領域のなさが共振している。(左:©前田圭介)



左…「BOE PLACE ガレリア」(1999) トロント市庁舎の近く、アーケードを包む樹木のようなスチールデザインには、カラトラバの才気が溢れている。大聖堂を思わせる床面には、太陽の動きと共に繊細な鉄骨部材の影模様を描かれていく。右…「高松丸亀町商店街アーケード」(2011) 4階屋根レベルに達するガラス屋根はこれまでの街並みに新しい活気を呼び起している。3つの街区毎に異なる表情が与えられており、完成までのプロジェクトの困難さが思われる。

Year	B.C.	A.C.	1000	1600	1800	1900	2000